

東京学館初の甲子園



初の甲子園出場を決め、喜ぶ東京学館の選手たち=25日午後1時前、新潟市中央区のハードオフ・エコスタジアム

▽決勝(ハードオフ・エコスタジアム)

中越	1	0	3	0	0	0	1	0	0	5
東京学館	0	0	0	0	3	0	0	1	2x	6

9回逆転サヨナラ
中越の猛攻はねのける

第105回全国高校野球選手権記念新潟大会は25日、新潟市中央区のハードオフ・エコスタジアムで決勝を行い、東京学館が中越に6-5で逆転サヨナラ勝ちし、初の甲子園出場を決めた。

東京学館は九回2死から、近藤颯斗選手の適時打で追い付くと、森田蒼生選手がサヨナラ打を放った。

序盤に4点を先制されたが、五回に反撃し、3本の適時打で3点を挙げた。2点差とされた後の八回にも1点を返し、最終回の逆転劇につながった。中越は三回に村井亮哉選手の2点適時二塁打などで3点を挙げ、試合を優位に進めた。七回にも追加点を挙げたが、土壇場でひっくり返された。

東京学館の八幡康生主将は「キャプテンとしてうれしく思う。新時代をつくることができた。新潟県代表として甲子園では、学館野球をした」と話した。

全国高校野球選手権大会は8月6日、兵庫県甲子園球場で開幕する。組み合わせ抽選は3日に行う。